QNAP

QuObjects S3 Compatible Object Service

S3 compatible object storage solution for service development and test on a QNAP NAS

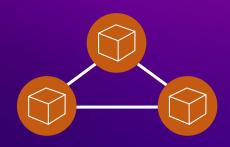


Objectストレージサービス、実はあなたも使っています



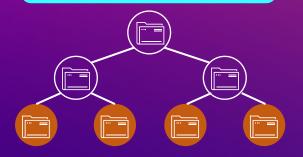
データストレージの3つのカテゴリー -ブロック/ファイル/オブジェクト

ブロック



- 1. ブロックストレージ技術は、1つのストレージ容量をブロックと呼ばれるいくつかの個別のインスタンスに分割します。
- 2. 各ブロックは個別に異なるアドレスを 持っており、独自のデータ転送プロト コルやオペレーティングシステムを使用 してフォーマットすることができますので、 完全な構成機能を利用することができます。

ファイル



- 1. ファイルストレージは、ダイレクトストレージシステムとネットワークアタッチドストレージシステムで使用されている主な技術です。ファイルストレージを使用する場合、データはクライアントが見るのと全く同じフォーマットでサーバ側に配置されます。
- 2. 最後に見たのは、上から下まで階層 化されたファイル構造でした。

オブジェクト



- オブジェクトストレージは各データを取得して、オブジェクトとして割り当てます。
- データはフォルダー内のファイルではなく別のバケットに保存され、メタデータとキーを組み合わせてストレージプールを形成します。



各種ストレージシステムの特徴

	ブロックストレージ	ファイルストレージ	オブジェクトストレージ	
			Controlled	
ユーザー	OS	ユーザー	ソフトウェア/プログラム (API)	
パフォーマンス	高速	中速	低速	
インターフェース	Fiber Channel / 10G/ISCSI	LAN / 10G	インターネット	
使用例	OS . DB	ファイル/ ファイル共有	画像 /PDF /動画	
スケール	いくつかの大きなファイル(※)	中程度のファイル数	膨大なファイル数	

※いくつかの大きなフィアルを1つのブロックストレージとして扱うため。

例:iSCSIのLUN

QuObjectsでNASのファイルにS3経由でアクセス可能

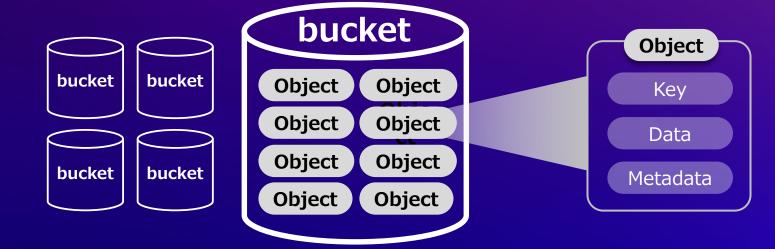
- オブジェクトストレージは「バケット」で表現し、「バケット」に「オブジェクト」を入れることができます。オブジェクトの一意な識別子(UID)です。
- サーバーやユーザーはデータの物理的なアドレスを把握する必要がなく、 それを通じてデータを見つけることもできます。
- 次の行は、オブジェクトのアドレスの例です:

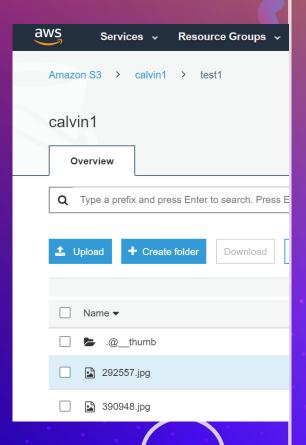
https://calvin1.s3.ap-east-1.amazonaws.com/test1/292557.jpg

L

バケット

クラウドサービスプロバイダ
フォルダ
ファイル名



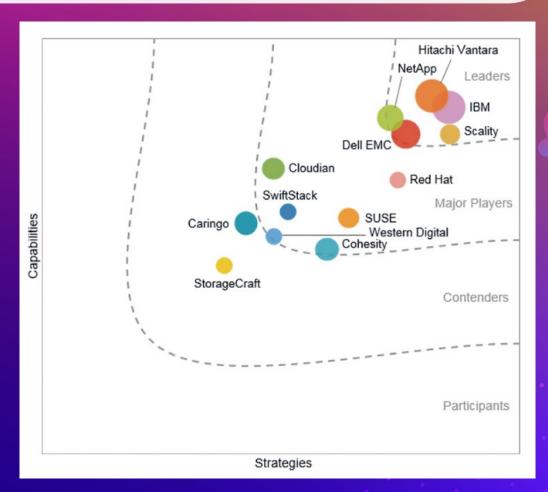


IDCによるオブジェクトストレージ市場分析@2018年

IDCが約500件の回答についてデータを調査。 回答者の半数以上がオブジェクトストレージの計画を採用していることが分かり ました。その理由は、

- 1. 現在のストレージ機器においてリソース管理が複雑化している
- 2.企業や組織における非構造化データの継続的な急成長を懸念している

また、IDCは「ファイルおよびオブジェクトストレージ市場」において、オブジェクトストレージが最も大きな成長性を持ち、5年間の複利成長率は10%(9.5%)近くになるだろうと予測しています。



参照元: https://www.netadmin.com.tw/netadmin/zh-tw/feature/D51668E3D947462A96329727934E7463

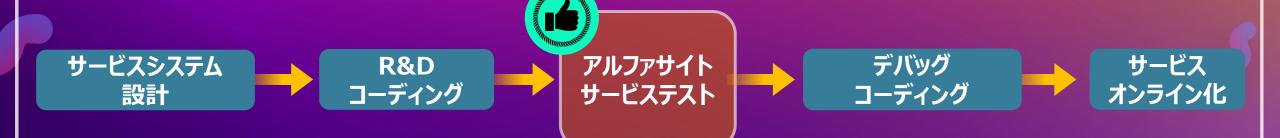


ウェブサービスをオンライン化する前に、検討すべきこと



- ⚠ 私はPMで、オンライン化した後の利用状況をシミュレーションしたいと考えています。
- ↑ 私は会社のIT担当ですが、会社のメインのプライベートクラウドサーバーに R&DのObject Serviceがアクセスできないようにしたいです。
- 私はR&Dで、自分でサービスを立ち上げてS3プロトコルを使ってデータを送信しています。ストレージデバイスの検証やテストが必要なのですが、どうすればいいですか?
- ♪ 私はR&Dで、NASにたくさんのデータを保存していますが、私のサービスは S3インターフェース経由でしか送信できません。

QuObjectsでNASが オブジェクトサービス開発用テストサーバーに早変わり!





QuObjects:オブジェクトストレージの利点

- 実際にクラウドにサービスを展開する必要がなく、NASは最適な開発環境と言えます。
- ファイルマネージャに直接接続して管理し、NASでサービステストを完了した後、オンラインにすることができます。
- S3伝送プロトコルのサービスは、IP構成を変更することで迅速に展開でき、その変更も簡単に完了できます。
- QNAP NASでスタンドアローンのオブジェクトストレージテストをすることができます。NASバックアップも可能です。

オブジェクトサービスを開発するソフトウェア技術者の現状





↑ 地域をまたいだ低速接続

! クラウド接続を利用する場合には料金が発生

⚠ NASはクラウドバックアップにのみ使用可能です。

QuObjectsを使い、オブジェクトサービス開発をさらに効率化





★ オフィスではローカル接続速度を利用できます。

パブリッククラウドにダイレクト接続して利便性を

享受することも可能です。

オフィス内のNASを素早くバックアップできます。



クラウドで素早く







クラウドの読み書き速度と比較した場合、QuObjectsは オブジェクトの転送をより効率的に処理できます



テスト環境:

NAS | TS-1885, 64G RAM, Cache 2 x240G SSD / 11 x 240G SSD, 2 x 25G NIC

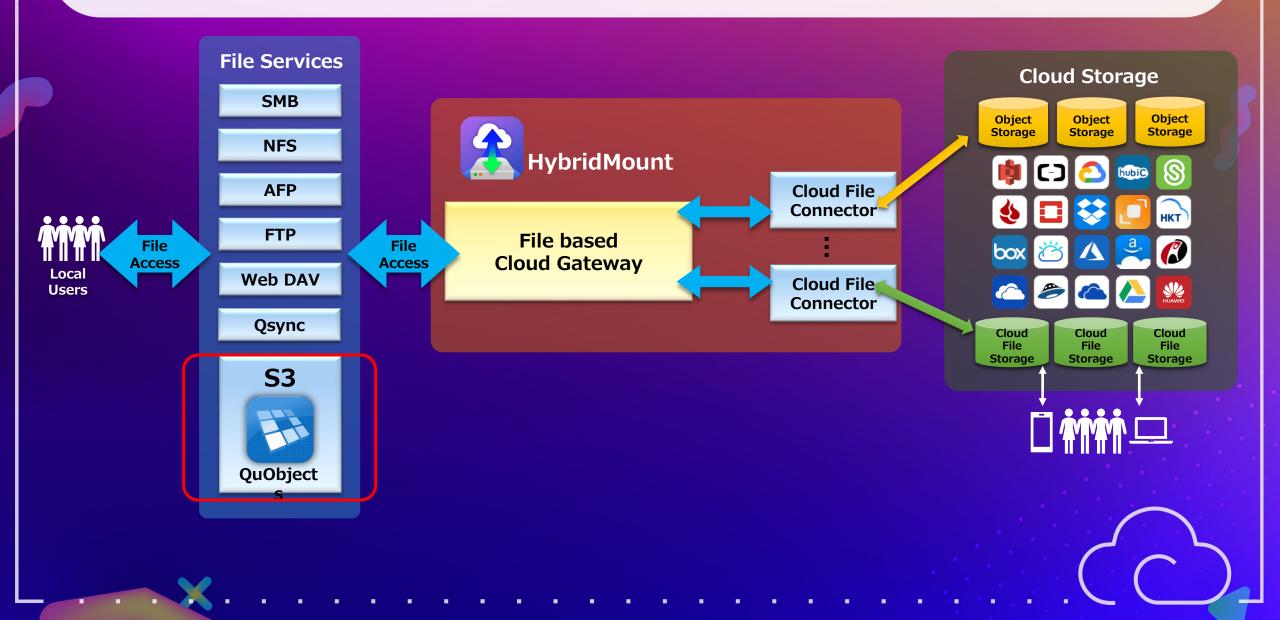
クライアントNAS | TS-977XU-RP 6C AMD 2600CPU 64G RAM 2 x 25G NIC

オブジェクトサイズ | 32 MB

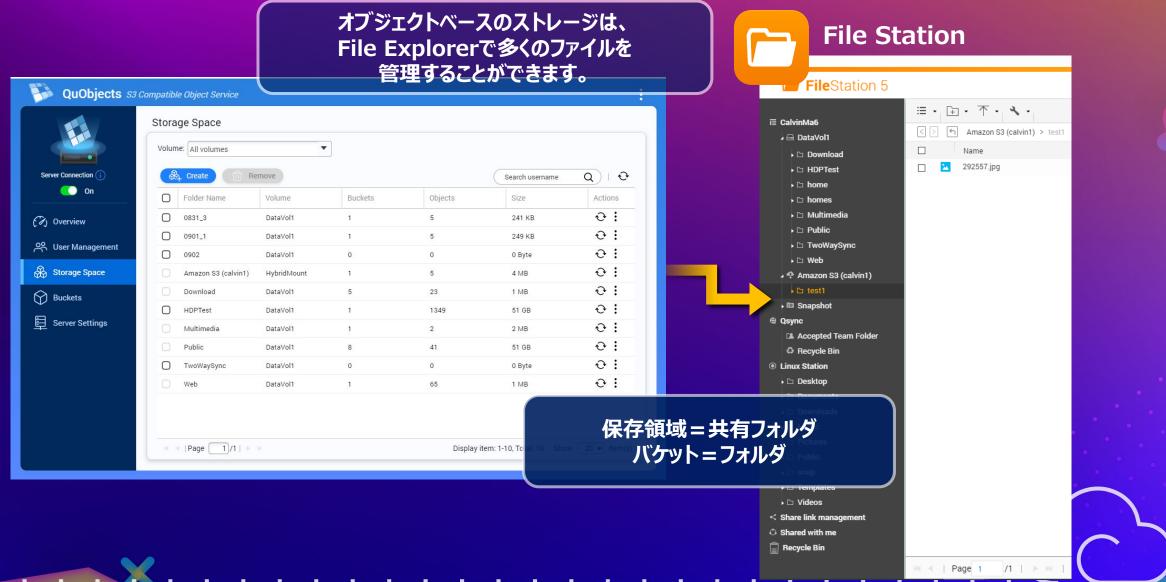
*QNAPラボでテスト済み、測定値はテスト環境によって異なります。



S3からS3への移行 - Hybird Mountでさらに便利に!



ファイルマネージャを使って、 オブジェクトストレージ/バケットを直接管理



クラウドおよびローカルNASに保存されたオブジェクトの比較





OSS	Cloud	NAS		
ストレージ 容量	コントロール不可能	コントロール可能	容量管理可能!	
機能	すべてのクラウドサービスは有料	スナップショット、マルチバージョンバックアップな ど、QNAPのすべてのバックアップサービスを利 用可能	複数のストレージ サービスを 利用可能!!	
性能	固定(追加料金にて高速化可能)	ネットワークやストレージの性能を柔軟に強化可能(10Gスイッチ/SSD)	性能向上が容易!	
アカウント 管理	アカウント開設にクレジットカードが必要。利用 額を頻繁に確認する必要有	NASでのアカウント管理	便利なアカウント管理!!	
テストコスト	非固定費、コントロール不能 (保存+伝送+管理+データ検索)	固定費、コントロール可能!	アップロードも ダウンロードも 無制限に使える!	



推奨モデル

個人向けOSS

TS-453D

- 4 bay
- Intel® Celeron® J4125 4C CPU
- Max 8GB RAM
- 2 x 2.5GbE
- 2 x PCIe Gen2 (Support 10G or SSD)



部門OSS

TVS-872XT

- 8 bay
- Intel[®] Core[™] i5-8400T 6C CPU
- Max 32GB RAM (2 x16G)
- NIC: 1 x 10G & 2 x 1G



企業向けOSS

TS-h1283XU-RP

- 12 bay
- Xeon® E-2236 6C CPU/ 3.4 GHz
- Max 128 GB RAM
- NIC: 2 x 10G







関連スケジュールや その他の注意事項

- 1. S3 to S3ソリューション、HybridMountにはVer.1.2.2513から対応しています。
- 2. QuObjectの中国語版と英語版は9/4、多言語版は9/Mに利用できるようになります。
- 3. QuObjectは、X86(インテルとAMD)アーキテクチャのNASモデルをサポートしています。



今すぐダウンロード!







S3互換のObjestストレージのベストソリューション